

議会改革検討委員会 会議要録

- 1 開催日時 令和6年12月3日(火) 開会 15時28分
閉会 16時22分
- 2 開催場所 第一委員会室
- 3 出席した委員 加藤 誠 一 委員長
河井 昭 成 副委員長
重田 剛 委員
本田 秀 樹 委員
谷口 典 隆 委員
野田 武 宏 委員
駒井 千 代 委員
河村 浩 史 委員
清水 ひとみ 委員
中山 和 行 委員
- 4 事務局職員 箕浦事務局長、保田次長
総務課 澤村参事、梅本総務係長、吉田主査
議事課 一丸課長、内田参事、森課長補佐
政策調査課 佐藤課長、川畑課長補佐、吉松主幹、辻主査、
松木主査、内藤主任主事
- 5 議 題 (1) 令和9年度以降の端末の活用方法について
(2) その他
- 6 配付した資料 別添のとおり
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

議事の経過概要

開会宣告 15時28分

1 令和9年度以降の端末の活用方法について

◎加藤誠一委員長 改めて申し上げますと、今回は令和9年度以降のタブレット端末等の在り方についてということで、議長から検討するように諮問を受けたという流れです。

大きくは、端末そのものについての話、それからファイル管理システムのこと、それからグループウェアについていろいろと議論いただいているところです。おさらいをしておきますと、これまでこの委員会では令和9年度以降の端末についてまずは調達方法を貸与方式とすることにしました。それから端末の形態ですが、基本的にはタブレット端末を基本とするということについて決めていただきました。現在はファイル管理システム、グループウェアの方向性について決めていただくために、端末をどのように活用するのかというところの議論を行っていただいております。

本日はこれまで出していただいた御意見を含めて令和9年度以降の端末の活用方法について改めて皆さんから御意見を頂きたいと思っています。これまでの委員会が出た御意見とそれに対する留意点等についての資料をお手元に配布しています。

それでは、資料に記載の諮問事項についてこれから皆さんに御意見をお願いしたいと思っておりますけれども、繰り返しになりますがそもそもこのタブレット端末の話はペーパーレス化が基本にあるということを押さえておきたいと思っております。その上で、新たにタブレット端末を入れるに当たってせっかく入れるのであれば、プラスアルファでそれ以外の機能の活用方法がないかということで、同期機能、キーボード、サイボウズのスケジュール機能の活用について議論をお願いしたいと思います。

まず同期機能ということでこの前デモを行っていただきましたが、現在利用しているSideBooksについては同期機能がないということで、別途Smart Discussionでデモを行いました。便利という御意見もあった一方で、現在のファイル管理システムでもいいのではないかという御意見もあり、いろいろな御意見がありましたが、要は同期機能を必須条件にするのか、あればいいということにしておくのかということです。もし同期機能を絶対に入れるという話になれば、メーカーが限られてきます。ただ、選定までまだ2年あるので、メーカー側もひょっとしたら新しくシステムを変えてくる可能性があります。2年先の話なので、この場で今日同期機能の導入を決めてしまうのは難しいかもしれませんが、今の段階ではっきりと確定しておくのか限りなく入れるという方向にしていくのか、その辺りも含めて御意見を頂ければありがたいと思っております。

◎河村浩史委員 最初から言っていますが、やはり同期機能はあった方がいいと思っています。今日の代表質問のときに、知事答弁がだいぶまごついていたと思いますが、あれも執行部側で操作して知事の画面に同期すれば、知事はわざわざ次の読むと

ころ探さなくても、画面に映ったものを読むだけでいいのです。やはり同期機能があった方が円滑な議事につながると今日見て感じました。

◎重田剛委員 同期機能を実際に体験してみて、確かに便利は便利ですが、それに伴って現段階では失うものもたくさんあります。総合的に評価をしていく中で、現時点では私は同期機能だけをとると今まで活用していた部分ができなくなるところもありますし、最初に委員長がおっしゃってくださったようにペーパーレス化が本来の目的で、それと同時に議会事務局の皆さんの仕事の軽減を図っていかうという目的もあった中で、この前のお話を聞いてると、どうも同期機能を選ぶことによって議会事務局の職員の皆さんの仕事量が増えるような気がするので、現段階ではあるに越したことはないですが、現段階ではそこにこだわる必要はないと感じました。それと、河村委員が、滋賀県議会議員になられた当初は同期機能がないと不便であると、大津市議会のときに使っておられた比較でおっしゃってましたけど、前は少し慣れてきたという発言もありましたので現段階では別にそこにこだわる必要はないと感じました。

◎駒井千代委員 同期機能はあった方がいいですが、ただ他の機能と合わせて優先順位としては最優先というわけではなく他の機能を加味した上で今後それほど労なく導入できるのであればいいという程度で収めておきたいと思っています。

◎清水ひとみ委員 私も大津市議会ですって使ってきたので、同期機能があった方が便利だということは分かっていますけれども、5年SideBooksを使ってきました、このフォルダにデータが全部入っていて、いろいろなところに行けるので、すごく便利です。2年後どうなるか分かりませんが、今の時点の自分の気持ちとしてはもしどちらを取るのかと言われると、今のこの整理、管理の仕方が、自分の中では重視されます。会派で話したときはもうどちらになっても良いという結論でした。

◎中山和行委員 同期機能の良さというのが、経験があまりないので、よく分かっていません。それで河村委員が非常に便利だと言われるのは、そうなのかなと思いましたけれども、1年ちょっとこのタブレット端末を使ってきましたので、個人的な意見としてはこのままでもあまり影響がないと思っていますが、皆さんが同期機能が絶対必要であるという意見であれば従います。

◎谷口典隆委員 同期機能はあるに越したことはないですが、今のシステムに慣れているので今のままでいいと思います。

◎本田秀樹委員 使い慣れていますし同期機能を使ったことがないので、今のままでいいと思います。

◎野田武宏委員 同期機能の問題で言うと、そもそも私も多分河村委員と同じく思

うところがありますけれども、執行部の説明を受けているときに、どこの何を指しているのかが分からないというのが結構最初ありましてどちらかという、フォルダ構成をきっちりとしてそれを執行部が説明するときにはしっかりと教えてくれれば解決できるのではないかと思います。何となく話を聞いている感じだと、執行部はどこのフォルダにどういうふうに資料が入っているのかというのをおそらく認識していない感じがします。執行部は私たちと同じフォルダ階層で見れていないのではないですか。

○箕浦議会事務局長 見れています。

◎野田武宏委員 見えてはいるということであれば、フォルダに01と付けてその中の資料に01-03とかいうように、どこのフォルダに何のデータが入っているのかちゃんと分かりやすくすることで、どの資料を自分が今見たらいいのかという負担を一定軽減できると思います。フォルダをきっちり分けてフォルダをきっちり説明してもらうことで、何の資料を見たらいいのかというのは、ケアできると思います。

◎加藤誠一委員長 活用方法についてということではタブレット端末の在り方で同期機能は大方やはりあれば便利でいいというところはあります。ただ、絶対かと言われるとですね、現在使っているファイル管理システムとの比較というのもあります。全く新たに1から導入するのではなく切替えですので、別の意味で問題が出てくる可能性もあります。また、実際に選定するのは基本的には2年先ですので、おそらくこのような機能がもっと進歩している可能性もあります。この委員会としては、入札のとき同期機能を必須にはしないとしたいと考えています。入札のときに必須にするとなかなか限られてくるという部分がありますので、あくまでもこのペーパーレス化して執行部とのやり取りの中でいかにデータを共有して見られる形にするという最低限の機能だけを仕様に入れた形にしないとなかなか難しいのではないかと思います。同期機能は必須ではないけれども、まだ2年ありますので、可能な限り全体的なメーカーの進歩状況を踏まえて、ほとんどのメーカーが入れるような状況にしていくということで、今の段階については、まとめていければと思っていますけれども、河村委員は必須条件だと思いますが、大丈夫でしょうか。必須というのはなかなか難しい問題で必須条件になると仕様に確実に書かなければなりません。そうになってしまうとメーカーが限られてしまいます。

○箕浦議会事務局長 委員長おっしゃる通り同期機能が必須となりますと、かなり限定的な感じになってしまいます。必須としないということであればたくさんメーカーに入っていただくことが可能となります。

◎加藤誠一委員長 入札はプロポーザルになると思いますのでメーカーから提案があります。いろいろな提案が出てきますが、そのときに一つの視点として、同期機能を入れるということも考えられます。今の段階ではこの程度かなという思いもしなくはないです。

◎清水ひとみ委員 同期機能を導入する場合にやはり執行部の皆さんと一緒にやらないと値打ちがありません。また、今日は多分この問題よりも議場の通信環境で知事の答弁が何回も止まったと思いますので、そちらも整備してもらわないと同期する値打ちがないと思います。

◎箕浦議会事務局長 本会議中の知事のタブレット端末についてはWi-Fiをうまく拾えなかったというところが問題でして、同期機能があればという問題でもなかったもので、そこについてはもう一度私どもの方で改めて確認をさせていただいて、一般質問に臨んでいくと考えています。申し訳ございません。

◎河井昭成副委員長 同期機能を同期機能だけで考えるとどうしたらいいのか分からなくなりますけれども、滋賀県議会はペーパーレスの視点から入って行って今のこの使い方ですが、議会運営をICT化するという観点から入ると、同期機能が選択肢に入ってきます。どのように使うかというところが結構大事で、そうするとファイル管理は別の方法として出てこなければなりません。ですので、現状ベースをペーパーレスからスタートすると、多分同期機能を入れるという話にはならないのではないかという気がします。ここから2年あるので、この後若者の政治参加の中でもっと分かりやすく議論をするというときに、例えば議場にモニター入れてという話をするのであれば、同期機能が必要になります。議論を分かりやすくといった観点で議会運営をICT化していくと、システムがガラッと変わってくるはずですよ。何をしたいかどうしようかというところが目的になるので、今の使い方だったら多分このままということになります。使い方を考える、議論の仕方、議会運営を変えていくということにもし考え方を切り替えると、違う局面が見えてくるはずですよ。それはもう少し時間がかかると思うので、私も河村委員と同様に同期機能があった方が議会運営上もいいですし、議論は分かりやすいはずですよ。執行部もいちいちページの説明をしなくていいので、説明しやすいはずですよ。ただ、議会や委員会の運営上、そこを変えていこうとするならばの話です。

◎加藤誠一委員長 河井副委員長おっしゃったようにそういう観点もありますが、そちらの話になりますとまたちょっと別の話の議論を1からしていかなければいけないので、将来的な話も答申ですから記載すればいいと思いますけれども、議長からの諮問はあくまでもタブレット端末を導入したペーパーレス化の流れでその次をどうするのかという話ですので、その流れはやはり押さえておかないといけません。併せて、同期機能については次のファイル管理システムの導入まで2年ありますので、今後更なるICT化あるいは子供若者の議論もありますけれども、そういった形で必要性を議論するのであれば、実際に導入に当たるときにはそのことも念頭に置きながら、仕様書で同期機能の優先順位を高くすることも考えるというような方向性で、とりあえずまとめてみたいと思いますが、いかがでしょうか。今の段階においては今年の議論の中において、どこかで折り合いをつけないといけませんので。同期機能につ

いては2年先にプロポーザルをするときに、今のベースを前提に置いて同期機能を入れても問題がなければ、入れるという方法になると思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 今日導入するしないを決めるということになっていましたが、両方併記します。結論は出しません。

次にキーボードですが、原則タブレット端末をベースにしていますので、パソコンとなれば当然付いてるんですけど、タブレット端末にはキーボードは付いていません。それと、委員会については規定はありませんので、本会議場をベースに、キーボードがカチャカチャするのはどうかという話です。

現在は、議長から貸与されたタブレット端末については、音を発しない措置を講じた上で議場に持ち込めることに議会運営委員会における主要な確認事項の中で決まっています。

◎野田武宏委員 この件は私が言っていた部分が大きいかと思えますけれども、今後パソコンにするのかタブレットにするのかという議論があった流れで多分ここが残っていると思えますが、パソコンではなくてタブレット端末にするとなり、今の委員長のお話も踏まえると、もしかしたらここで話をする内容ではなくて、議会運営委員会でお話しする内容になってきていると思えます。この委員会でもし今度からパソコンにしましょうという話であれば、議会改革検討委員会としてそういう話があると、議会運営委員会に持っていく話になると思えますが、タブレット端末でいきましょうということであれば、キーボードの話というのはここでどうという話ではないと思えます。もちろん私は議場に持ち込めたらいいですけども、持ち込めなかったら持ち込めなかったで何とかしますので、他の委員の皆さんがものすごく求めているのであれば、結構です。

◎加藤誠一委員長 基本的にタブレット端末を基本とするということになっていきますので、今回決めてしまいたいのですが、タブレット端末でよろしいでしょうか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 タブレット端末にするということでもまず決めます。そうしますとタブレット端末にはキーボードを付けることができますが、現在は音を発しない措置を講じると書いてますので、基本的にはキーボードは駄目ということになります。ということで、キーボードについては別途議論に回したいと思えます。

次にタブレット端末のサイズですけども、大きい方と小さい方どちらがいいかという話です。前も一度議論があったときには小さい方がいいという意見が多かったですが、どうでしょうか。大きい方がいいという人もいますが。

◎重田剛委員 重さはどうですか。

○佐藤政策調査課長 重さですけれども、今の事務局用が466gで、最新版の11インチですと444gです。今の議員用が684gですが、最新版の13インチですと582gです。

◎加藤誠一委員長 事務局と執行部はなぜ小さいサイズですか。

○佐藤政策調査課長 コロナ禍で部品が調達できず大きいサイズは議員の台数しか用意できなかったからです。

◎重田剛委員 タブレット端末を携帯して持ち歩く場合は、やはり小さいに越したことはないですけれども、常任委員会や特別委員会で県外調査に行くときに大きいし重いから持ち運びが大変であると言っていました。現時点ではタブレット端末を持って行かなくても済んでいることが多いので、不便性を感じません。県外調査に行くときにタブレットが必ず必要となると小さいサイズもありかなと思いますが、これも一長一短ありますからね。県庁で使っているだけであれば画面分割することを考えると大きい方が便利です。

◎河村浩史委員 最新版は大きいサイズでも100g軽くなるのであれば、それはそれで持ち運びはマシなのかなと思います。

◎清水ひとみ委員 私は一貫してバックに入る大きさということで、前回から小さいサイズを主張しています。

◎加藤誠一委員長 昨年度から自分のスマホやパソコンでSideBooksを見れるようになっていますが、これで十分かなと思っています。あくまでもタブレット端末は基本的には県庁に置いといて、私有端末でもSideBooksを閲覧できるというシステムがあれば今の大きいサイズでも問題ないと思います。

◎野田武宏委員 画面サイズを今決める必要があるのでしょうか。そもそもiPadということは確定なのでしょう。私はiPadでいいんですけれども、iPadというのが確定であれば、現在はiPad Proですが、機能的な話としてiPad Proである必要があるのかという話が次に出てくると思います。ペーパーレスで資料を見るというレベルであればiPadでもいいかもしれませんし、もっと言うと事務局用がiPad Airですけれども、一回り小さいiPad miniもありますよね。選択肢があまりにも多すぎるのではないかと思います。それを今どこまで決めるべきなのか、Apple製品は確定という話がそもそも今決まっている前提なのか、iPad Proというところまでは確定なのか、それともインチ数が確定しているという話なのかによって全然違うと思います。普通のiPadであれば、iPad Proより軽くなるはず。その代わりに中のスペックは少し下がりますが、ペーパーレスで使う分にはスペックをそこまで求める必要がないですし、しか

も金額は安くなります。

◎佐藤政策調査課長 セキュリティ面でかなり厳重になってるということでiPadにしています。iPad Proは動画の編集に使用できるなど処理能力がとても高いので、資料を見るということだと、iPad Airやもう少し機能の低いもので十分と思っています。値段についても、iPad ProとiPad Airで10万程度も金額が違ってきます。

◎中山和行委員 個人的には小さい方がいいと思います。県外調査のときに事前に資料を見ておきたかったのがタブレット端末を持って行ったのですが、やはりちょっと重たかったのが軽い方がありがたいです。そこまで使いこなせないのも、一つランクの下の方で十分活用できると思います。

◎加藤誠一委員長 これは確か各会派で御確認いただいた案件です。あのときは大方が小さいサイズがいいということだったと思いますが、機能の関係で決めませんでした。せっかく各会派で決めていただいたということからすれば10.9インチの方でということになりますが、それでよろしいですか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 これについては前回の各会派からの意見をまとめて、多数であった小さいサイズにするということになります。

それでは最後にサイボウズのスケジュールの機能ですが、これについては現在議会全体のスケジュールを掲載する形をとっていますけれども、各会派のスケジュールの連動や、活用方法を拡大してほしいという御意見がありました。ただ、スケジュールの管理方法は議員によりまして様々で、活用方法の拡大はなかなか難しいと感じますが、現状の活用方法でいいのか、あるいはもう少し改善するのか、この辺りについて御意見を頂ければと思いますが、いかがですか。

◎駒井千代委員 カレンダーはGoogleカレンダーで十分なので最低限のスペックで結構です。

◎加藤誠一委員長 今と同程度の運用でよろしいですか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 それでは、スケジュール管理方法については従来通りの運用方法としたいと思います。

その他にその他の意見というのがたくさんありましたけれども、これについては先ほどICT化という話がありまして議場へのモニターの関係といった話については、別の視点で議論が必要かと思いますが、今回の諮問事項ではありません。ただ、一番

下のタブレット端末の防災訓練での活用という話がありまして、何か活用できないかという話がありましたけれども、これも含め何かこの機会に御意見があればお伺いしておきたいと思います。

◎駒井千代委員 防災もそうなんですけれども、先般委員会等でも介護等の理由でオンライン参加ができるようになり、そのような場面ではタブレット端末を使うこととなりますので、そういった観点は必要であると思います。

◎加藤誠一委員長 他に何か御意見はありますか。よろしいでしょうか。まだまだあるかとは思いますが、まず今日お伺いした段階においても一度全体の整理をさせていただいて、1回確認をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

2 その他

◎加藤誠一委員長 本日の議題については以上ですが、この際何かありますか。

(なし)

◎加藤誠一委員長 次回ですが、前は若者の議会参加でNPO法人ドットジェイピーに来ていただき意見交換をしましたが、新聞であれだけ取り上げていただきましたのでいい加減な結論で終わっていたらあかんという思いです。次回の委員会ですが、12月20日(金)の本会議が終わってからと考えていますが、よろしいですか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 若者の議会への興味と関心を深めるための取組についてはこれまでデータのにもいろいろお示しをし、フリーでお話しました。前は若者に来ていただきました。今後は滋賀県議会としてどういった取組をしていくのかという点について御議論いただきたいと思います。当日までに、ぜひ皆さんそれぞれ考えてきてください。何でも結構ですし、予算のことは気にしてもらわなくていいです。長期的な展望での話もあれば来年からの話もあると思います。アイデアの段階ですのでいろいろなアイデアを出してもらって、やれることをやっていくということしかないと思います。特効薬はないかもしれませんが、滋賀県議会として若者に議会に目を向けてもらうために、前回の若者の皆さんの御意見も踏まえ御議論いただき一定このようなことをしたらどうかというアイデアをまとめていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

閉会宣告 16時22分

県政記者傍聴：1社
一般傍聴：0人